

ちばだい  
プレス

千葉大学広報誌

特集

千葉大学の  
地域での取り組み  
大学祭2016 REPORT!  
OBOGインタビュー

vol. 38  
2017 JANUARY

千葉大学では、平成25年度から「地(知)の拠点整備事業(COC)」、平成27年度から「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の文部科学省補助金事業の採択を受けて、千葉県内の地域づくり、地方創生に全学を挙げて取り組んでいます。

# 千葉大学の地域での取り組み

特集



千葉ローカルの未来をつくる!

## COC+

### 「都市と世界をつなぐ千葉地方圏の”しごと”づくり人材育成事業」

県内の複数の大学、自治体、企業、NPOなどと協働し、千葉ローカルに魅力ある産業・雇用をつくりだし、地域産業イノベーション人材育成のための事業を進めています。

#### 地域産業イノベーション学

「地域産業をイノベーションする専門人材」を育成するための全学共通教育プログラム。千葉のローカル地域に新しい仕事をつくり出し元気にすることを実践的に学びます。現在、約20名の学生が学修しています。

**1** 地方創生を語る  
地方創生の取り組みにおいて第一線で活躍する講師が、地方創生の本質を語る授業です。



一般社団法人「村楽」の東大史さんに、これまでの地方創生の取り組みを紹介していただきながら、戦略について話していただきました

**2** 地域における起業を語る  
千葉のローカル地域で起業して活躍しているアクターをお呼びし、話をうかがっています。



千葉県いすみ市のNPO「いすみライフスタイル研究所」による講義風景。地方での仕事や生活、ビジネスのあり方、地方移住に至る経緯などを体験談を交えてお話いただきました

#### ローカルイノベーション(雇用創造)

横芝光町、いすみ市、勝浦市、長柄町などに、6次産業化、インバウンド観光、メディカル連携(CCRC)分野において、新たなローカル産業を生み出し、雇用をつくり出しています。

**3**



ローカルイノベーション・コンソーシアム  
ローカルイノベーションをつくり出すため、地域ごとにコンソーシアムをつくり、事業を組み立てています。

#### 長柄町版大学連携生涯活躍のまち(CCRC)

長柄町・リソル生命の森に、千葉大学の生涯学習、予防医学プログラムを取り入れた生涯活躍のまちを計画し、新たな雇用をつくり出す。



**4**

#### ローカル・ファースト

学生がローカル志向になり、地方で定着し活躍できるよう、地方での受け入れ基盤をつくとともに、学修や起業・就職面でのサポートをしています。

**5**

体験学習ツアー  
地方の課題やポテンシャルを知り、より地方に関心や愛着が湧くような体験ツアーがいくつもあります。



千葉大生・フィンランドの学生が共にいすみ市のまちづくり戦略を練りました

横芝光町に1泊して町のポテンシャルを体験。観光まちづくり戦略についてのワークショップをしました



ローカルハブ  
横芝光町、いすみ市、勝浦市に千葉大学の現地オフィスを設置し、ローカルイノベーションの拠点にしています。



**6**



地域コーディネーター  
5人の地域コーディネーターが、ローカルイノベーション、ローカルファーストを、現地に常駐するなどして推進しています。

**7**

大都市郊外の地域を元気にする!

## COC

### 「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点」

地域課題が山積している大都市郊外の地域にある千葉大学は、その課題解決のための教育・研究・社会貢献に取り組む拠点大学となるべくさまざまな事業を進めています。

#### コミュニティ再生ケア学

「地域課題を解決する専門職人材」を育成するための全学共通教育プログラム。千葉大学において一貫して地域づくり・地域再生を学んだ履修証明書が授与されます。現在、約120名の学生が学修しています。



熊谷千葉市長が「千葉市」について講義!

千葉県内の市長による授業「千葉の地域を知る」  
千葉市長、松戸市長、柏市長に各市の課題やポテンシャルについて講義をしてもらっています。

**2**

NPO活動体験  
市内のNPOに体験プログラムの提供をお願いして地域づくりを実践的に学んでいます。



千葉市若葉区の里山再生に取り組むNPO「バランス21」での実習風景。里山の歴史や再生の活動について実践的に学びました

**3** カレッジリンクプログラム  
「地域を元気にするアプリをつくらう!」

**4** カレッジリンクプログラム  
「稲毛」におけるクリエイティブな場づくり」



学生と市民がともに、テーマを設定してワークショップ形式で地域課題の解決を学びあいます

**5**

地域の中のキャンパスづくり  
大学のキャンパスと地域との関係はどうあるべきか、多面的にキャンパスをとらえ、皆で考えていきます。



#### 学際的な地域貢献型研究

大都市郊外のさまざまな課題解決のために、全学部からの教員が学際的に研究事業を進めています。

#### 健康屋台

千葉大学総合安全衛生管理機構、フロンティア医工学センター、看護学部の教員や学生が「大学に来て健康になる!」をテーマに、健康プロジェクトに取り組んでいます。



**6**



#### 千葉アートネットワーク・プロジェクト(WiCAN)

教育学部の神野真吾准教授を中心としたチームによる、地域コミュニティにおけるアートの可能性を探る実践研究。昨年度は、地域の方から収集した千葉にまつわるもの「影」を用いた展示を、千葉市美術館にて開催しました。

#### サテキャン

千葉市の廃校小学校を借りて千葉大学のサテライトキャンパスとして運営し、授業や地域住民参加型の研究を進めています。



改修工事が終わり2016年12月から第二期サテキャンが始動しています

**8**



#### サテキャンでカフェ

サテキャンにカフェを設置、カフェでのコミュニケーションを通して地域貢献をしています。

#### 地元住民向け公開講座

さまざまな教員が地元の住民向けに公開講座を開講しています。



**9**

COC+についてもっと知りたい

<https://www.chiba-coc.jp/plus>

COCについてもっと知りたい

<https://www.coc.chiba-u.jp/>

# 亥鼻



医学部 5年生  
ふじもと かずし  
藤本 一志さん

## 応急救護

応急救護を体験できる展示スペースです。「救急車が来るまでの8分間で何ができるのか。それを一般の方にも知って欲しい」という主旨で亥鼻祭に出席しています。毎年好評で、常連の方もいらっしゃいます。やはりカラダで覚えたことは忘れないということですね。



## 千葉大学なのはな音楽部

亥鼻キャンパスの学生で構成されるオーケストラの部活です。毎年、定期演奏会や近隣の病院でのコンサートを開催しています。亥鼻祭ではアンサンブル中心の音楽喫茶をオープンしました。未経験者でも演奏できるレベルになれる「教え合う風土」が持ち味です。



医学部 3年生  
しらいし はるか  
白石 晴香さん



## ぬいぐるみ病院

子供が先生となって、看護師役の学生のサポートを受けながら、ぬいぐるみの診察をする体験スペースです。普段は、西千葉キャンパス内にある附属保育園で活動しており、そのため医学部・看護学部以外に教育学部の学生も参加しているサークルです。



看護学部 2年生  
あかみね あまね  
赤峰 周さん



# 松戸

## FLOWER SHOP 2016

松戸・柏の葉キャンパスで育てた植物を、研究室の4年生が主体となって販売しました。市場の価格より安く買えることで毎年好評です。市場の流行を学び、どれを育てるかを決め、「出荷基準」に沿って品質も保持しなくてはなりません。「売りながら学べる」「専門分野に偏らず全体を俯瞰できる」メリットがあります。



園芸学部 園芸学科  
花卉園芸学研究室 4年生  
こんどう ゆう  
近藤 悠さん



## 果樹園芸学 研究グループ展示

毎年恒例の展示企画で、今年はリンゴを扱いました。室内の壁全面を覆い尽くす圧倒的な情報量ですが、論文や長野県の試験場の協力を元に学生が調査・制作しました。正確性を期すために、4年生→大学院生→先生の三重のチェックが入り、その量も相まって、夏休みを返上しての大変な作業になりますが、確実に自分たちの糧になります。



園芸学部 園芸学科  
果樹園芸学研究室 3年生  
たかやま ひろあき  
高山 紘明さん



## 柏の葉

柏の葉キャンパスでは、11/3(木・祝)にセンター祭を開催。畑や植物工場を見て回れるキャンパス見学ツアー、野菜収穫やピザづくりなどの体験教室、農産物の販売など、楽しみながら柏の葉キャンパスのことをもっと知ってもらうイベントがたくさんの一日でした。



## Chiba univ. Formula Project



工学部 機械工学科 3年生  
すがや りょうた  
菅谷 涼太さん

毎年9月に行われる「学生フォーミュラ大会」に向けて作り上げた自動車の展示とデモ走行を行いました。完成したマシンは時速120kmで走行可能。いろいろな方の支援に支えられて、それを走らせることができたときの達成感は他に代え難いものがあります。

## 理学部 水族館

館山・銚子など千葉の海に向いて、自分たちで釣ってきた魚を展示しました。魚にストレスを与えないように、閉館以降も水質管理を行うことが大変です。毎年恒例の企画ですが、前年の先輩方の資料を元に、3年生が自分たちで立ち上げていくのが醍醐味です。



理学部 生物学科 3年生  
かとう しゅうき  
加藤 主暉さん



## 伝統文化サークル 花あさぎ

千葉市内の「千葉県文化会館」で上演される創作狂言に製作協力として参加。劇中で実際に使われる小道具の製作や、広報活動などを行っています。昨年の「やぶしらす」は好評。今年の演目は「里見八犬伝 其ノ零」です。この展示では、衣装を着ての撮影や、狂言師の先生を招いての演舞を披露しました。



文学部 史学科 2年生  
いみづみ そうた  
泉水 聡太さん

# 大学祭 2016

REPORT!

毎年11月初めは大学祭のシーズン。各学部、各サークルなどで日ごろ取り組んだ成果や、創意工夫した展示、発表、ステージ企画などが行われました。西千葉キャンパスの「千葉大祭」、亥鼻キャンパスの「亥鼻祭」、松戸キャンパスの「戸定祭」、柏の葉キャンパスの「センター祭」と、4つのキャンパスがそれぞれの特徴を活かして展開。総合大学ならではの幅広い企画を来場者の皆様楽しんでいただきました。



香取 秀紀 (かとり・ひでのり)  
1937年、千葉県香取市生まれ。千葉大学教育学部卒業後、37年間の教員生活を経て定年退職。定年後には神職免許を取得し、香取祖霊社の神官を務めるほか、地域ボランティアや自治活動にも積極的に参加している。教員時代からボーイスカウトに関わり、現在は日本ボーイスカウト香取第2回役員。千葉大学慣業会OB幹事など役職多数。



東国三社のひとつに数えられる香取神宮の社家（世襲的に仕える神職の家柄）の長男に生まれた香取秀紀さん。現在の香取神宮との関わりや長年続けているというボーイスカウト活動、千葉大生へのメッセージなどを語っていただきました。

地域に根差した、さまざまな活動を通していつまでも現役でい続けたい

香取神宮 祀祐社役員

# 香取 秀紀さん

育ててくれた祖父母の影響で神職ではなく教員の道を目指す

——香取神宮の社家に生まれたとのことですが、教員の道に進まれたのはなぜですか。

香取 私父は香取神宮で神主を務めていたのですが、私が8歳のときに戦死しました。母も5歳のときに亡くなってしまったため、私を育ててくれたのは祖父母です。祖父も祖母も地元を大切にしている教育者で、その影響は大きかったと思います。社家の長男として香取神宮で神職に就くという選択もありましたが、祖父母のような教員になりたいという思いが強く、最終的には教員の道を選びました。千葉大学の教育学部に進学を決めたのは、私が住んでいた香取から通える場所、なおかつ教職課程があったというのが理由です。

——教員として定年を迎えた後に神職資格を取得されたそうですが、現在の香取神宮との関わりはどのようなものなのでしょう。

香取 社家の集まりである「祀祐社」の幹事として、初詣や祭りなど人手が必要なお手伝いをしています。また、香取神宮に隣接している香取祖霊社で神主を務め、葬儀などを執り行っています。こうした活動も、地元を大切にしているという点では、祖父母から影響を受けた考えを活かしているのではないかと思います。

新しいことに挑戦する気持ちを忘れずこれからも「生涯現役」を続けたい

——ボーイスカウトでも地域に根差した活動をされていますが、ボーイスカウトはどのような位置づけなのでしょう。

香取 ボーイスカウトは教員になり間もなく、育成会長である香取神宮宮司から依頼されて隊長になり、以来55年続けています。多くの人との出会いを通して刺激を受けていますし、青少年を育成するだけでなく、私自身も新しい知識を得たり、さまざまな創意工夫をしたりといった体験を通して活力をいただけてきました。私は、ボーイスカウト日本連盟初代総長だった後藤新平氏が遺した「人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう」という言葉が好きで、活動のモットーとしています。今は子どもたちとキャンプに行くことはなくなりましたが、まとめ役として今後も活動をサポートしていければと考えています。

——ここまでながかつた以外でもさまざまな役職を兼務されています。80歳でこれだけ精力的に活動できる秘訣はなんでしょう。

香取 新しいことに挑戦しようという気持ちを忘れないようにしています。そうすると元気になりますし、元気なことを誉められると、それでもまた頑張ろうという励みになります。これからも「生涯現役」を続けていきたいですね。

精神面でも体力面でも強く生きる力を身につけてほしい

——千葉大学時代の思い出はありますか。

香取 私が学生だった頃は、香取駅から大学のある千葉駅まで2時間ほどかかっていました。この2時間の間に勉強をしたり、友人といろいろな話をしたりした思い出が一番印象に残っています。

——最後に、千葉大生へのメッセージをお願いします。

香取 現代は、「生きる力」が必要な時代だと思います。世の中に出ればストレスもありますし、年を重ねるにつれて健康の必要性も感じるようになるはずです。そんな時代を乗り切るために、精神面でも体力面でも強さを身につけていってください。本を読んで視野を広げるのも、運動で体力を養うのも生きるための強さになるので、どんなことでもやってみようという気持ちを持つといいでしょう。特に若い頃の読書は一生の宝物になると私は思うので、たくさん本を読んでください。



香取秀紀校長 教育功労賞受賞 記念祝賀会  
37年間にわたる教員生活で赴任した学校は10校。すべて千葉県内だ



教員になってすぐに始めたボーイスカウト活動は55年を数える

長年の貢献に対して、2004年にボーイスカウト日本連盟から「かっこう章」が授与された



新たな学問領域として災害時の被災者支援を  
考える「災害看護学」。その意義や活動について、  
岩崎弥生教授、伊藤尚子特任准教授のお二人に  
話を伺いました。



左:岩崎弥生(いわさき・やよい)  
千葉大学大学院看護学研究所教授。  
看護学博士。高校卒業後一般企業に  
就職、その後看護の道へ進み、米国の  
大学、大学院に留学。精神看護学に  
ついての実践や教育・研究を経て、平  
成9年より千葉大学着任。

右:伊藤尚子(いとう・たかこ)  
千葉大学大学院看護学研究所特任  
准教授。日本赤十字社医療センター  
で看護経験を積んだ後、海外の難  
民キャンプでの支援活動や日本赤  
十字看護大学での教員を経て、平  
成26年より千葉大学特任准教授。

お二人が研究されている災害看護学とは  
どのようなものなのでしょう

岩崎 学問としてはまだ構築途上ですが、  
平成7年に発生した阪神・淡路大震災あた  
りを契機に被災者への人道支援の重要性が  
注目され、東日本大震災を経て、確立されつ  
つある研究領域です。

伊藤 阪神・淡路大震災以前にも数々の災  
害はありましたが、世界に目を向ければ、紛  
争や飢餓、貧困など、一種の災害として位置  
付けられる状況はいくらでもあります。こ  
うした状況で苦しむ人々の尊厳を守り、看  
護の立場から支えていくのが災害看護の役

割だと考えています。

災害看護に取り組みようになつた  
きっかけをそれぞれ教えてください

岩崎 私はもともと精神障害を持つ人への  
看護支援を行ってきました。社会的に脆弱  
な立場にある人への支援という意味では、  
災害看護もその延長上にあると思います。  
災害看護で培ったさまざまな知見が活か  
せると考え、災害看護にも取り組むようにな  
りました。

伊藤 私はアフリカの干ばつや食糧難と  
いった現状を知り、自分で何かできないか  
と思ってザンビアの難民キャンプで支援活  
動を行ったのが現在につながっています。  
また、発展途上国での国際保健医療活動の  
経験が災害看護への取り組みを深めるきつ  
かけにもなっています。

お二人の活動で最近のトピックが  
あれば教えてください

岩崎 現在、被災者とコミュニティのメン  
タルヘルス支援の視点から研究に取り組む  
とともに、「グローバルリーダー」の育成に  
向けた教育方法について検討していること  
です。学生たちには、グローバルリーダー  
にならないければ達成できないことは何か、  
ということを問いつつ、自分たちの役割に

## 人道支援の観点から災害看護のあり方を考える



インドネシアのガジャマダ  
大学より研修生を迎えた災害  
看護学講座。学生、研究生  
による研究発表やシミュレ  
ーションゲームなどを行った

災害看護学では、開放骨折や  
やけどの状態を模したアイテム  
などを用い、災害時における被災  
者の重症度の判定や応急処置  
について学ぶ



ついて考えていってほしいと思います。  
伊藤 11月にネパール地震による被災者を  
訪問しました。人権および安全・安寧な生  
活を保障することの重要性を痛感してきま  
した。  
千葉大生への  
メッセージをお願いします  
岩崎 夢を大事にしてください。すぐには  
実現しなくても、夢は進むべき道を示して  
くれます。その夢が他者の幸福の実現に関  
連するものなら、実現したときの喜びも  
きっと大きいはずですよ。  
伊藤 何をすることもロジックとパッション  
が必要です。考えるときは冷静に、行動する  
ときは情熱を持ってください。

## CHIBADAI GLOBAL LETTERS ちばだい グローバル LETTERS vol.01

千葉大学から世界へ！ 日本を  
飛び出して感じたことをありのま  
まの言葉で語ってもらいました。

私は将来薬学の研究者になつ  
て、アジアの国々と関わってい  
たいと考えています。しかし、今  
まで海外にすら行ったことがな  
かったので、このBOOTプログラム  
を機に海外、特にアジアの国に  
目を向けていき、その現状を知  
りたいと考えました。

日本とインドネシアの  
違いをたっぷり体験

実際に行ってみると、留学する  
前に思っていた以上の様々な経  
験や学びがありました。  
まず、ホームステイで現地の実  
際の暮らしを体験しました。家庭  
料理はやはり日本とは味付けが

### 今回のレポーター



薬学部3年  
内海 直也さん

違い、食べきれないくらい量が多  
かったり、蟻が食器を歩いていた  
り。シャワーは水しか出なくて、ト  
イレは水を桶で汲んで流し、紙は  
流せない。家族は仲が良く、空  
いた時間にはキーボードやギター  
を弾きながら歌って過ごすこと  
もありました。服装、交通、店員  
の様子などにも、日本と違う習慣  
が多くみられました。  
派遣先の大学でインドネシアの  
文化講義を受け、インドネシアは  
多くの島々に多くの民族・言語・  
宗教があることを知りました。異  
文化を受け入れにくい印象があ  
る日本と比べて、インドネシアの  
人々はどんなことにも寛容であ  
るように感じたのは、そのためか  
もしれません。

屋台のナシゴレンを食べておな  
かを壊す経験もしました。薬学部  
生である自分には、海外で体調を  
崩して、現地の治療を受けられ  
たのはとてもいい経験になりまし  
た。現地の薬は一錠がとても大き

今まで見えなかった  
世界が見えた

多く、飲まなくてはいけない種類も  
多いなどの問題点がわかり、将  
来、薬学を研究することによって  
改善できたらと考えました。

留学プログラムに参加したこ  
とで、これまで井の中の蛙だった  
自分に気づいて恥ずかしくなりま  
した。しかし、今まで見えなかつた  
世界が見え、自分は将来何をし  
たいのか、何をすべきなのかを少  
しはわかった気がします。インド  
ネシアの現状を知るには、今回だ  
けではまだまだ足りていないと思  
いますが、それでも今までに比べ  
ればよく知ることができたと、  
もっと知りたいと思うようにな  
りました。

今後は、発展途上国のポラン  
ティア等に参加して、私が将来携  
わりたいと思っている医療分野で  
の知見を広げたいです。

### 留学プログラム紹介

#### グローバル・フィールド・ワーク (BOOT)

アジアのトップ大学を派遣先として、コミュニ  
ケーションベースの英語学習および現地文  
化の学習・体験を行う2週間程度のプログラ  
ムです。平成28年度は韓国、インドネシア、タ  
イ、台湾へ派遣。海外ビギナーズ向けの留学  
プログラムとして、海外渡航の心構え、準備、  
体調管理や危機管理までの充実したフォ  
ローも特徴です。

詳細はこちら↓  
<http://skipwise-chiba-u.jp>



ジャカルタ中心部は、新  
宿のように大きなビル  
がたくさんありました



派遣先のインドネシア大  
学。12の学部をもつイン  
ドネシアのトップ大学です



フィールドワークではボゴール  
のチナンニン文化体験村に行  
き、現地の文化を体験しまし  
た

▶ 答えは下の「もっと知りたい千葉大学」へ

## 新しく獲得した附属農場を 発展・整備してできました

もっと  
知りたい  
千葉大学



松戸にある園芸学部隣接する農場が手狭になったため、1991年、アメリカ軍柏通所跡地の国有地を譲り受け、広さ25haの「柏農場」が新設されました。その後、土地の一部を東京大学へ割譲し、現在の「環境健康フィールド科学センター」を2003年に設立。「環境健康学」の拠点として再スタートしました。2005年には、つくばエクスプレスの駅が設置されたことも併せ、千葉大学の新しい顔となりました。（国際教養学部 見城 悌治）

## ドラマ「ドクターX」の撮影が 千葉大学病院で行われました

INFORMATION



外来診療棟玄関ロビーでの撮影風景。現場は緊張感たっぷりです

「私、失敗しないので」でおなじみのドラマ「ドクターX〜外科医 大門未知子〜」の第4シリーズの撮影が医学部附属病院で行われ、2014年夏に新築した外来診療棟の玄関ロビーを中心に院内各所がドラマに登場しました。人気医療ドラマの新シリーズという点もあり、放送前も放送中も注目が高かった本作。ご覧になった方は、どのシーンに千葉大病院が登場していたかわかりましたか？

## 「うらやすこども大学」に 講師を派遣

EVENT

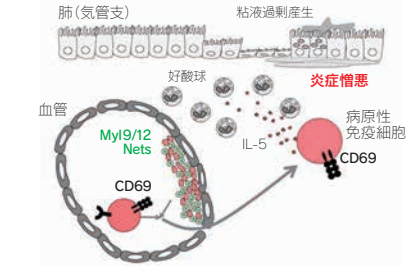


小学校4・5年生48名が参加

千葉大学は、浦安市が開催する「うらやすこども大学」へ、国際教養学部のガイタン・ティエ・ス・ヤニス助教を講師として派遣しました。ヤニス助教は「外国」という言葉の不思議なグローバルな世界の中の生活について考えよう」を題目にして、自身のさまざまな国での生活体験談やグループワークを中心に講義を行いました。参加した子どもたちからは「外国の素晴らしいところをもっと知りたい」等の声寄せられました。

## ぜんそくなどの重症アレルギー 疾患のメカニズムを解明

INNOVATION

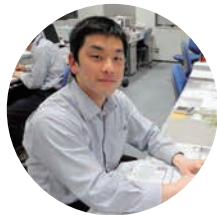


病原性免疫細胞は、タンパク質のネットを足場に血管の外の炎症組織に移動し、アレルギー疾患を引き起こす

大学院医学研究科 中山俊憲教授の研究グループは、ぜんそくや好酸球性副鼻腔炎などの難治性アレルギー疾患発症の鍵となるタンパク質を発見し、発症のメカニズムを解明しました。このタンパク質に対する抗体をぜんそくマウスに投与したところ、ぜんそくが全く起こらないことも分かっていきました。今までの治療が難しかった疾患の画期的治療薬ができる可能性があると、実用化に向けての開発を行っています。

## 技術者として、選手として 挑戦し続ける 株式会社LIXIL 長島理さん

OBOG MESSAGE



長島 理  
1979年生まれ。1998年埼玉県立大宮高等学校卒業。2005年株式会社INAX（現：株式会社LIXIL）へ入社し、現在Technology Research 本部マテリアルサイエンス研究所に所属。パラバドミントン日本代表選手。



社内発明者表彰において、障がい者バドミントン選手権大会にて



**千葉大学の思い出**  
1998年に工学部物質工学科（現 共生応用化学科）に入学。大学2年の春休みに事故に遭い、背髄損傷で下半身不随に。将来への不安はありましたが、大学の仲間や先生に助けられ、大学に復帰できました。後に、佐藤智司教授の研究室に配属され、修士課程まで楽しく実験を続けました。

**今の仕事について**  
大学院を修了した2005年、株式会社LIXILに技術系総合職として入社しました。大学での専門性も活かし、主に防汚技術（汚れを防ぐ技術）の研究を担当しています。LIXILにはトイレの水アカを防ぐ「プロガード」という技術があり、この担当もしました。この技術は特許化しており、LIXIL社内の

発明者表彰で最優秀賞も受賞しています。

また、ジョブローテーションでお客さま相談センターの勤務も経験しました。研究職ではなかなか聞けないエンドユーザーの声を聞いたり、自社商品のことを勉強したりと非常に新鮮な情報にあふれた楽しい時間でした。

**2020年に向けて**  
中学生から始めたバドミントンは車いすになっても続けました。パラバドミントン（障害者バドミントン）の大会に出場するようになり、練習を重ねるうちに日本代表に選ばれ、今は2020年の東京パラリンピックに出場し、メダルを獲得するという大きな目標ができました。技術者として、アスリートとして、今やることを精いっぱいやり続けたいと思います。

株式会社 LIXIL  
http://www.lixil.co.jp/



LIXILグループは、「2020年までに世界で最も企業価値が高く、革新的で、信頼されるリビングテクノロジー企業となる」というビジョンを掲げています。社員全員が最高の結果を追求する、多様性に富んだ実力主義の企業文化を育んでおり、リーダーとなっていく実行力と情熱のある人材を求めています。千葉大学のOB・OGは88名在籍しています。

## 関東学生陸上競技連盟の 役員に陸上部の2人

INFORMATION



左から、水上さん、伊藤さん

今年度、関東学生陸上競技連盟の幹事長を工学部4年の水上俊太さんが、常任幹事を教育学部1年の伊藤舜さんが務めています。兩名ともサポート側として陸上競技に関わるため役員になったとのこと。着任から9ヶ月を経た今の心境について、「一流選手を身近に感じられてうれしい。これからも活動が続けたい」（伊藤さん）、1月の箱根駅伝は四、五千名のスタッフが関わる大会。周りの人たちに感謝しながら、滞りなく運営したい（水上さん）と語りました。

## ESDフォーラムを開催

EVENT

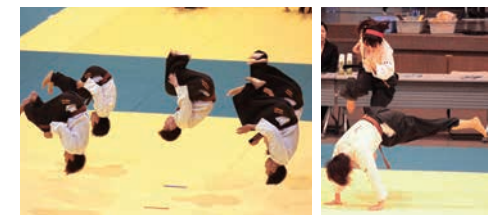


公演のあと、参加者は自身の関心ある分野のブースに足を運び、活発な議論を行いました

平成28年10月10日、千葉大学でESD持続可能な開発のための教育フォーラムを開催しました。こちらは教育学部が中心となつて行う文科省ユネスコ活動費補助事業（人間力を育むESDの地域展開）の一環として、昨年開催されていいます。千葉県企業関係者、教育関係者、留学生、千葉大学の学生、教職員、高校の生徒や教職員など多様な関係者約90名が参加しました。

## たいてい 躰道部、2種目で全国優勝。 総合では2位に

AWARD

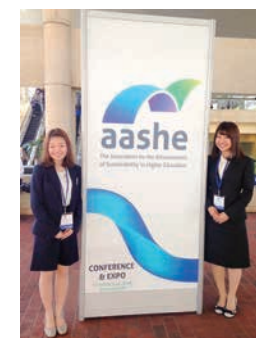


全国1位となった、男子団体法形競技（左）と女子団体展開競技（右）

平成28年10月8日、千葉大学躰道部が第50回全国学生躰道優勝大会に出場し、総合2位入賞を果たしました。また男子団体法形競技、女子団体展開競技ではそれぞれ1位に輝きました。団体法形競技は、躰道独特の武道の型を5人で合わせ、動きの鋭さ、美しさ、呼吸や調和を競い、団体展開競技は、6人1組で、殺陣のような攻防の動きを魅せる競技です。

## 環境ISO学生委員会の1年生 が国際会議「AASHE2016」 で発表しました

EVENT



発表を行った五十嵐さん（左）、藤代さん（右）

平成28年10月10日にアメリカ・ボルチモアで開催されたサステイナブルキャンパスに関する国際会議「AASHE2016」にて、千葉大学環境ISO学生委員会の1年生、五十嵐双葉さんと藤代杏澄さんが、千葉大学の環境ISOの取り組みと成果について発表しました。自身の発表のほかにも学生同士のサミットに参加して、アメリカやカナダを中心とした他大学の取り組みを聞くなどの交流もありました。

I N D E X



02 特集 千葉大学の地域での取り組み  
地域の課題を解決していく拠点としての活動と、  
“千葉ローカル”の未来をつくる取り組みを紹介



04 特集 大学祭 2016 REPORT!  
4キャンパスで盛大に行われた大学祭  
各キャンパスの特色あふれる取り組みをレポート



06 特集 OBOGインタビュー  
地域に根差した活動を続ける、  
香取神宮祀祐社役員が登場



08 研究室訪問  
新たな学問領域である「災害看護学」とは  
—千葉大学大学院看護学研究科 災害看護学講座—

09 ちばだいグローバル LETTERS  
初めての留学体験を等身大の言葉でレポート!

10 TOPICS/もっと知りたい千葉大学

〔表紙〕松戸キャンパスに新築されたゲストハウス「洗心倶楽部」